

日商簿記2級
工業簿記が得意になる問題集

答案用紙

Chapter 1 工業簿記のしくみと勘定連絡

問題 1 工業簿記と原価計算

➡ 問題2ページ

ア		イ		ウ	
エ		オ			

問題 2 原価の分類

➡ 問題3ページ

問 1

①		②		③	
---	--	---	--	---	--

問 2

①		②		③	
---	--	---	--	---	--

問 3

①		②	
---	--	---	--

問題 3 原価計算の流れ

➡ 問題4ページ

問 1

①		②		③	
---	--	---	--	---	--

問 2

製品Aの製造原価 円 売上高 円

製品Aの完成品単位原価 円 売上原価 円

材 料		仕 掛 品	
買 掛 金 ()	仕 掛 品 ()	材 料 ()	製 品 ()
	製造間接費 ()	賃 金 ()	
		製造間接費 ()	
賃 金		製造間接費	
当 座 預 金 ()	仕 掛 品 ()	材 料 ()	仕 掛 品 ()
	製造間接費 ()	賃 金 ()	
		水道光熱費 ()	
水道光熱費		製 品	
当 座 預 金 900	製造間接費 ()	仕 掛 品 ()	売 上 原 価 ()
販 売 費		売上原価	
当 座 預 金 500	月次損益 ()	製 品 ()	月次損益 ()
月次損益			
		売 上 原 価 ()	売 上 ()
		販 売 費 ()	

月次損益計算書

×5年7月1日～×5年7月31日 (単位：円)

I 売 上 高	()
II 売 上 原 価	
1 月初製品棚卸高	0
2 当月製品製造原価	()
合 計	()
3 月末製品棚卸高	0 ()
売 上 総 利 益	()
III 販売費及び一般管理費	
1 販 売 費	()
営 業 利 益	()

Chapter 2 費目別計算 1 (実際価格と実際配賦)

問題 1 材料費の計算

➡ 問題 8 ページ

(1) 先入先出法

直接材料費 円

材料月末有高 円

(2) 月次総平均法

直接材料費 円

材料月末有高 円

問題 2 労務費の計算

➡ 問題 9 ページ

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				

賃 金

当座預金 () 未払賃金 ()
未払賃金 () 仕掛品 ()

仕 掛 品

賃 金 ()

問題 3 経費の計算

➡ 問題 10 ページ

水道光熱費

当座預金 () 製造間接費 ()

製造間接費

水道光熱費 ()
減価償却費 ()

減価償却費

建物減価償却累計額 () 製造間接費 ()
機械減価償却累計額 ()

問題 4

製造間接費の配賦

➡ 問題 11 ページ

製造間接費	
材 料 ()	仕掛品(製品A) ()
賃 金 ()	仕掛品(製品B) ()
水道光熱費 ()	
減価償却費 ()	

仕掛品 (製品A)	
材 料 ()	製 品 A ()
賃 金 ()	
製造間接費 ()	

仕掛品 (製品B)	
材 料 ()	製 品 B ()
賃 金 ()	
製造間接費 ()	

問題 5

費目別計算と勘定記入

➡ 問題 12 ページ

材 料	
月初有高 ()	仕 掛 品 ()
買 掛 金 ()	製造間接費 ()
	月末有高 ()

仕 掛 品	
材 料 ()	製 品 ()
賃 金 ()	
製造間接費 ()	

賃 金	
当座預金 ()	未払賃金 ()
未払賃金 ()	仕 掛 品 ()
	製造間接費 ()

製造間接費	
材 料 ()	仕 掛 品 ()
賃 金 ()	
水道光熱費 ()	
減価償却費 ()	

水道光熱費	
当座預金 900	製造間接費 ()

減価償却費	
減価償却累計額 ()	製造間接費 ()

Chapter 3 財務諸表の作成

問題 1 損益計算書と貸借対照表

➡ 問題 14 ページ

仕 掛 品		製 品	
前月繰越 ()	製 品 ()	前月繰越 ()	売上原価 ()
材 料 ()	次月繰越 ()	仕 掛 品 ()	次月繰越 ()
賃 金 ()		()	()
製造間接費 ()			
()	()		

製造間接費		売上原価	
賃 金 ()	仕 掛 品 ()	製 品 ()	月次損益 ()
水道光熱費 ()			
減価償却費 ()			
()	()		
			月次損益
		売上原価 ()	売 上 ()

月次損益計算書

× 5 年 7 月 1 日 ~ × 5 年 7 月 31 日 (単位: 円)

I 売上高		10,800
II 売上原価		
月初製品棚卸高	()	
当月製品製造原価	()	
合 計	()	
月末製品棚卸高	()	()
売上総利益		()

月次貸借対照表

× 5 年 7 月 31 日

(単位: 円)

I 流動資産	I 流動負債
材 料 ()	未 払 賃 金 ()
仕 掛 品 ()	
製 品 ()	

(1)

製造原価報告書		
× 5 年 7 月 1 日 ~ × 5 年 7 月 31 日 (単位 : 円)		
I 材料費		
1. 月初材料棚卸高	()	
2. 当月材料仕入高	()	
合 計	()	
3. 月末材料棚卸高	()	()
II 労務費		
直接工賃金	()	
間接工賃金	()	()
III 経費		
水道光熱費	()	
減価償却費	()	()
当月総製造費用		()
月初仕掛品棚卸高		()
合 計		()
月末仕掛品棚卸高		()
当月製品製造原価		()

(2)

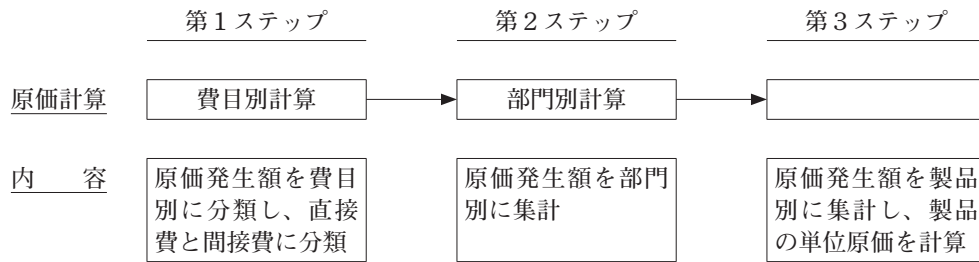
製造原価報告書		
× 5 年 7 月 1 日 ~ × 5 年 7 月 31 日 (単位 : 円)		
I 直接材料費		
1. 月初材料棚卸高	()	
2. 当月材料仕入高	()	
合 計	()	
3. 月末材料棚卸高	()	()
II 直接労務費		
		()
III 製造間接費		
間接工賃金	()	
水道光熱費	()	
減価償却費	()	()
当月総製造費用		()
月初仕掛品棚卸高		()
合 計		()
月末仕掛品棚卸高		()
当月製品製造原価		()

Chapter 4 総合原価計算 1 (仕損、減損など)

問題 1

総合原価計算の内容と種類

➡ 問題 18 ページ



製品別計算の種類	内 容
単純総合原価計算	同じ種類の製品を連続生産する場合に適用する製品原価の計算方法
<input type="text"/>	総合原価計算 : 同じ種類の製品を連続生産するが、その製品を大きさ、形などによって等級に区別する場合に適用する製品原価の計算方法
<input type="text"/>	総合原価計算 : 異なる種類の製品を連続生産する場合に適用する製品原価の計算方法
<input type="text"/>	原 価 計 算 : 異なる種類の製品を個別的に生産する場合に適用する製品原価の計算方法

問題 2

総合原価計算

➡ 問題 19 ページ

(1) 先入先出法	(2) 平均法
月末仕掛品原価 <input type="text"/> 円	月末仕掛品原価 <input type="text"/> 円
完成品総合原価 <input type="text"/> 円	完成品総合原価 <input type="text"/> 円
完成品単位原価 @ <input type="text"/> 円	完成品単位原価 @ <input type="text"/> 円

問題 3

減損(途中点発生)

➡ 問題 20 ページ

(1) 先入先出法	(2) 平均法
月末仕掛品原価 <input type="text"/> 円	月末仕掛品原価 <input type="text"/> 円
完成品総合原価 <input type="text"/> 円	完成品総合原価 <input type="text"/> 円

問題 4 減損(終点発生)

➡ 問題21ページ

(単位：円)

	直接材料費	加工費	合計
月初仕掛品原価	105,000	27,000	132,000
当月製造費用	409,500	167,040	576,540
合計	514,500	194,040	708,540
月末仕掛品原価			
完成品総合原価			

答案
用紙Ch4
総合原価計算
1**問題 5 減損(発生点不明)**

➡ 問題22ページ

月末仕掛品原価 円完成品総合原価 円**問題 6 仕損(終点発生)**

➡ 問題23ページ

問 1 仕損品に評価額がない場合月末仕掛品原価 円完成品総合原価 円**問 2** 仕損品に評価額がある場合月末仕掛品原価 円完成品総合原価 円**問題 7 仕損(発生点不明)**

➡ 問題24ページ

問 1 仕損品に評価額がない場合月末仕掛品原価 円完成品総合原価 円**問 2** 仕損品に評価額がある場合月末仕掛品原価 円完成品総合原価 円

Chapter 5 総合原価計算2 (追加材料、組別、等級別計算など)

問題 1 追加材料の投入(定点投入)

➡ 問題 25 ページ

問 1 B材料を工程の終点で投入する場合

月末仕掛品原価 円

完成品総合原価 円

問 2 B材料を工程の途中点で投入する場合

月末仕掛品原価 円

完成品総合原価 円

問題 2 追加材料の投入(平均的投入)

➡ 問題 26 ページ

月末仕掛品原価 円

完成品総合原価 円

問題 3 工程別総合原価計算

➡ 問題 27 ページ

仕掛品 - 第1工程

前月繰越 ()	仕掛品 - 第2工程 ()
直接材料費 ()	次月繰越 ()
加工費 ()	
<u>()</u>	<u>()</u>

仕掛品 - 第2工程

前月繰越 ()	製 品 ()
仕掛品 - 第1工程 ()	次月繰越 ()
加工費 ()	
<u>()</u>	<u>()</u>

問題 4

組別総合原価計算

→ 問題28ページ

(単位：円)

	製品 A		製品 B	
	直接材料費	加工費	直接材料費	加工費
月初仕掛品原価	17,700	6,450	8,500	7,130
当月製造費用	212,700		76,800	
合計				
月末仕掛品原価				
完成品総合原価				

問題 5

等級別総合原価計算

→ 問題29ページ

月末仕掛品原価 円

完成品総合原価 円

A₁完成品総合原価 円

A₁完成品単位原価 円

A₂完成品総合原価 円

A₂完成品単位原価 円

A₃完成品総合原価 円

A₃完成品単位原価 円

Chapter 6 個別原価計算

問題 1 個別原価計算の内容と計算方法

➡ 問題30ページ

ア		イ		ウ	
エ					

問題 2 個別原価計算(月初仕掛なし)

➡ 問題30ページ

指図書別原価計算表

(単位：円)

	No.101	No.102	No.103	合 計
直接材料費	5,000	7,000	6,000	
直接労務費	9,000	5,000	2,000	
製造間接費				
合 計				
備 考	完成・販売	完成・販売	未完成	—

仕 掛 品

前月繰越	0	製 品 ()
直接材料費 ()		次月繰越 ()
直接労務費 ()		
製造間接費 ()		
()		()

製 品

前月繰越	0	売上原価 ()
仕掛品 ()		次月繰越 0
()		()

指図書別原価計算表

(単位:円)

	No.103	No.104	No.105	合 計
月初仕掛品原価		—	—	
直接材料費	—	9,000	6,000	
直接労務費	2,000	4,000	3,000	
製造間接費				
合 計				
備 考	完成・販売	完成・未販売	未完成	—

仕 掛 品

前月繰越 ()	製 品 ()
直接材料費 ()	次月繰越 ()
直接労務費 ()	
製造間接費 ()	
()	()

製 品

前月繰越 0	売上原価 ()
仕掛品 ()	次月繰越 ()
()	()

指図書別原価計算表

(単位:円)

	No.104	No.104-2	No.105	合 計
直接材料費	9,000	2,000	6,000	17,000
直接労務費	2,000	600	3,000	5,600
製造間接費				
小 計				
仕 損 費		△	—	
合 計				
備 考	完成・販売	No.104に賦課	未完成	—

仕 掛 品

直接材料費 ()	製 品 ()
直接労務費 ()	次月繰越 ()
製造間接費 ()	
()	()

Chapter 7 費目別計算2 (予定価格と予定配賦)

問題1 予定価格と予定配賦

➡ 問題35ページ

ア		イ		ウ	
---	--	---	--	---	--

問題2 材料費の予定価格

➡ 問題36ページ

問1

材 料	
前月繰越	8,200
買掛金 ()	仕掛品 ()
()	製造間接費 ()
()	次月繰越 ()
	()

問2

材 料	
前月繰越	8,200
買掛金 ()	仕掛品 ()
()	製造間接費 ()
()	材料消費価格差異 ()
	()
材料消費価格差異	
材 料 ()	()

問1

賃 金	
当 座 預 金 ()	未 払 賃 金 ()
未 払 賃 金 ()	仕 掛 品 ()
	製 造 間 接 費 ()
()	()

問2

賃 金	
当 座 預 金 ()	未 払 賃 金 ()
未 払 賃 金 ()	仕 掛 品 ()
	製 造 間 接 費 ()
	賃 率 差 異 ()
()	()

賃率差異	
賃 金 ()	

外注加工賃	
当 座 預 金 ()	() ()

水道光熱費	
当 座 預 金 ()	製 造 間 接 費 ()

棚卸減耗損	
材 料 ()	() ()

減価償却費	
減価償却累計額 ()	製 造 間 接 費 ()

問 1

実際配賦率 @ 円 / 時間

(単位：円)

	No.101	No.102	合 計
実際配賦額			

問 2

(1) 予定配賦額

(単位：円)

	No.101	No.102	合 計
予定配賦額			

(2) 勘定記入

製造間接費

間 接 材 料 費 ()	仕 掛 品 ()
間 接 労 務 費 ()	製造間接費配賦差異 ()
間 接 経 費 ()	
<u>()</u>	<u>()</u>

製造間接費配賦差異

製 造 間 接 費 ()	
---------------	--

製 品	
前月繰越	0
仕掛品	()
	()
売上原価	()
次月繰越	()
	()

売上原価	
製品	()
材料消費価格差異	()
賃率差異	()
製造間接費配賦差異	()
	()
月次損益	()
	()

月次損益計算書

(単位：円)

I 売上高		200,000
II 売上原価		
1 月初製品棚卸高	0	
2 当月製品製造原価	()	
合計	()	
3 月末製品棚卸高	()	
差引	()	
4 原価差異		
(1) 材料消費価格差異	()	
(2) 賃率差異	()	
(3) 製造間接費配賦差異	()	()
売上総利益		()

製造原価報告書

×5年7月1日～×5年7月31日 (単位：円)

I 直接材料費		()
II 直接労務費		()
III 製造間接費		
間接工賃金	()	
水道光熱費	()	
減価償却費	()	()
合 計		()
製造間接費配賦差異	[]	()
当月総製造費用		()
月初仕掛品棚卸高		()
合 計		()
月末仕掛品棚卸高		()
当月製品製造原価		()

仕 掛 品

前月繰越	1,000	製 品 ()
直接材料費	()	次月繰越 ()
直接労務費	()	
製造間接費	()	
	()	()

月次損益計算書

(単位：円)

I 売上高		13,000
II 売上原価		
1 月初製品棚卸高	0	
2 当月製品製造原価	()	
合 計	()	
3 月末製品棚卸高	0	
差 引	()	
4 原価差異	()	()
売上総利益		()

Chapter 8 部門別計算

問題 1 部門別計算の目的と計算の流れ

➡ 問題 46 ページ

ア		イ		ウ	
エ					

問題 2 実際配賦(総括配賦と部門別配賦)

➡ 問題 48 ページ

問 1

製造指図書 No.101 への配賦額 円

製造指図書 No.102 への配賦額 円

問 2

製造指図書 No.101 への配賦額 円

製造指図書 No.102 への配賦額 円

問題 3 実際配賦(直接配賦法)

➡ 問題 50 ページ

(1) 補助部門費配賦後の製造部門費

切削部門費 円 組立部門費 円

(2) 製造間接費の実際配賦率

切削部門 @ 円 組立部門 @ 円

(3) 製造指図書への配賦額 (単位: 円)

	No.101	No.102	合 計
製造間接費			

問題 4 実際配賦(相互配賦法)

➡ 問題52ページ

- (1) 補助部門費配賦後の製造部門費

切削部門費 円 組立部門費 円

- (2) 製造間接費の実際配賦率

切削部門 @ 円 組立部門 @ 円

- (3) 製造指図書への配賦額 (単位：円)

	No.101	No.102	合 計
製造間接費			

問題 5 予定配賦(予定配賦率の計算)

➡ 問題53ページ

- (1) 年間予定製造間接費部門費配賦表

製造間接費予算部門費配賦表 (単位：円)

費 目	合 計	製 造 部 門		補助部門
		切 削 部	組 立 部	動 力 部
部 門 費	5,502,000	3,048,000	1,674,000	780,000
動 力 部 費				
製 造 部 門 費				

- (2) 製造部門の予定配賦率

切削部門 @ 円 組立部門 @ 円

(1) 製造指図書への予定配賦額 (単位：円)

	No.101	No.102	予定配賦額合計
切削部門費配賦額			
組立部門費配賦額			
合 計			

(2) 勘定記入

動力部門費		切削部門費	
実際発生額 ()	切削部門費 ()	実際発生額 ()	仕 掛 品 ()
	組立部門費 ()	動力部門費 ()	製造間接費配賦差異 ()
()	()	()	()

組立部門費	
実際発生額 ()	仕 掛 品 ()
動力部門費 ()	製造間接費配賦差異 ()
()	()

製造間接費配賦差異	
切削部門費 ()	
組立部門費 ()	

問 1

(1) 年間製造間接費部予算部門費配賦表

製造間接費予算部門費配賦表 (単位：円)

費 目	合 計	製 造 部 門		補助部門
		切 削 部	組 立 部	動 力 部
部 門 費	5,502,000	3,048,000	1,674,000	780,000
動力部費				
製造部門費				

(2) 製造部門の予定配賦率

切削部門 @ 円

組立部門 @ 円

(3) 製造指図書への予定配賦額 (単位：円)

	No.101	No.102	予定配賦額合計
切削部門費配賦額			
組立部門費配賦額			
合 計			

(4) 当月の実際製造間接費配賦表

製造間接費配賦表 (単位：円)

費 目	合 計	製 造 部 門		補助部門
		切 削 部	組 立 部	動 力 部
部 門 費	510,000	268,000	167,000	75,000
動 力 部 費				
製 造 部 門 費				

(5) 切削部門の製造間接費配賦差異 円 (差異)

組立部門の製造間接費配賦差異 円 (差異)

問2

(6) 当月の実際製造間接費配賦表

製造間接費配賦表 (単位：円)

費 目	合 計	製 造 部 門		補助部門
		切 削 部	組 立 部	動 力 部
部 門 費		268,000	167,000	
動 力 部 費				
製 造 部 門 費				

(7) 切削部門の製造間接費配賦差異 円 (差異)

組立部門の製造間接費配賦差異 円 (差異)

動力部門の製造間接費配賦差異 円 (差異)

Chapter 9 製造間接費配賦差異の分析（実際原価計算）

問題 1 製造間接費配賦差異の分析

→ 問題59ページ

ア		イ		ウ	
エ					

問題 2 公式法変動予算

→ 問題60ページ

製造間接費予定配賦額 円
 製造間接費配賦差異 円 (差異)
 予算差異 円 (差異)
 操業度差異 円 (差異)

※ () 内に「借方」または「貸方」を記入すること。

製造間接費	
実 際 発 生 額	9,800
	予 定 配 賦 額 ()
	予 算 差 異 ()
	操 業 度 差 異 ()
	<u>()</u>

予算差異	
製 造 間 接 費 ()	

操業度差異	
製 造 間 接 費 ()	

問題3 固定予算

➡ 問題61ページ

製造間接費予定配賦額 円
製造間接費配賦差異 円 (差異)
予算差異 円 (差異)
操業度差異 円 (差異)

※ () 内に「借方」または「貸方」を記入すること。

問題4 公式法変動予算と固定予算の比較

➡ 問題62ページ

問1 固定予算

製造間接費配賦差異 円
予算差異 円 (差異)
操業度差異 円 (差異)

※ 予算差異、操業度差異については、() 内に「借方」または「貸方」を記入すること。
(問2も同じ)

問2 公式法変動予算

製造間接費配賦差異 円
予算差異 円 (差異)
操業度差異 円 (差異)

問3

実際操業度と基準操業度がほぼ等しい場合には、基準操業度における予算許容額と実際操業度に対応する予算許容額はほぼ等しくなる。そのため、この場合、経済的に予算差異を計算するためには、を採用する方が望ましい。

問1 製造間接費の予定配賦額

切削部門 円

組立部門 円

問2 製造間接費の実際発生額（補助部門費配賦後）

切削部門 円

組立部門 円

問3 製造間接費配賦差異と分析

切削部門 製造間接費配賦差異 円 (差異)

 予算差異 円 (差異)

 操業度差異 円 (差異)

組立部門 製造間接費配賦差異 円 (差異)

 予算差異 円 (差異)

 操業度差異 円 (差異)

※ () 内に「借方」または「貸方」を記入すること。

Chapter 10 標準原価計算

問題 1 標準原価計算の目的と流れ

➡ 問題66ページ

ア		イ		ウ	
エ		オ		カ	

問題 2 標準原価の計算

➡ 問題67ページ

完成品原価 円
 月末仕掛品原価 円
 月初仕掛品原価 円
 売上原価 円

問題 3 勘定記入

➡ 問題68ページ

パーシャル・プラン

材 料	
買掛金 78,840	仕掛品 ()

賃 金	
当座預金 120,960	仕掛品 ()

製造間接費	
諸 口 135,520	仕掛品 ()

仕 掛 品	
月初有高 ()	製 品 ()
直接材料費 ()	原価差異 ()
直接労務費 ()	月末有高 ()
製造間接費 ()	
()	()

原価差異	
仕掛品 ()	

シングル・プラン

材 料	
買 掛 金	78,840
仕 掛 品 ()	
原 価 差 異 ()	

賃 金	
当 座 預 金	120,960
仕 掛 品 ()	
原 価 差 異 ()	

製造間接費	
諸 口	135,520
仕 掛 品 ()	
原 価 差 異 ()	

仕 掛 品	
月初有 高 ()	製 品 ()
直接材料費 ()	月 末 有 高 ()
直接労務費 ()	
製造間接費 ()	
()	()

原 価 差 異	
材 料 ()	
賃 金 ()	
製造間接費 ()	

問題 4 直接材料費差異の分析

➡ 問題70ページ

直接材料費差異 円 (差異)

価格差異 円 (差異)

数量差異 円 (差異)

問題 5 直接労務費差異の分析

➡ 問題71ページ

直接労務費差異 円 (差異)

賃率差異 円 (差異)

作業時間差異 円 (差異)

問 1

製造間接費差異 円 (差異)

能率差異を変動費と固定費両方から計算する場合

予算差異 円 (差異)

能率差異 円 (差異)

操業度差異 円 (差異)

問 2 能率差異を変動費のみから計算する場合

予算差異 円 (差異)

能率差異 円 (差異)

操業度差異 円 (差異)

仕 掛 品	
月初有高 ()	製 品 ()
直接材料費 ()	原 価 差 異 ()
直接労務費 ()	月 末 有 高 ()
製造間接費 ()	
()	()

月次損益計算書		(単位：円)
I 売 上 高		1,200,000
II 売 上 原 価		
1 月初製品棚卸高	()	
2 当月製品製造原価	()	
合 計	()	
3 月末製品棚卸高	()	
差 引	()	
4 原 価 差 異	()	()
売 上 総 利 益		()

Chapter 11 CVP分析

問題1 CVP分析の目的と計算方法

→ 問題76ページ

ア		イ		ウ	
エ					

問題2 CVP分析1

→ 問題77ページ

- 問1 損益分岐点売上高 円
損益分岐点販売量 個
- 問2 目標営業利益達成点売上高 円
目標営業利益達成点販売量 個
- 問3 売上高営業利益率達成点売上高 円
売上高営業利益率達成点販売量 個
- 問4 安全余裕率 %
損益分岐点比率 %

問題3 CVP分析2

→ 問題78ページ

- 問1 損益分岐点売上高 円
損益分岐点販売量 個
- 問2 値下げ後の変動費率 %
営業利益達成点売上高 円
営業利益達成点販売量 個

問題4 固定分解(高低点法)

➡ 問題79ページ

問1 最高営業量 個
 最低営業量 個

問2 単位あたり変動費 円
 月間固定費 円

問題5 経営レバレッジ

➡ 問題80ページ

問1 N社の経営レバレッジ係数
 S社の経営レバレッジ係数

問2 N社の営業利益の減少率 % N社の営業利益 円
 S社の営業利益の減少率 % S社の営業利益 円

問3 N社の営業利益の増加率 % N社の営業利益 円
 S社の営業利益の増加率 % S社の営業利益 円

Chapter 12 直接原価計算

問題1 直接原価計算の目的と計算方法

➡ 問題81ページ

ア		イ		ウ	
エ		オ		カ	

損益計算書 (単位:円)

I 売上高	50,000
II 変動売上原価	()
変動製造マージン	()
III 変動販売費	()
貢献利益	()
IV 固定費	
固定製造原価	()
固定販売費・一般管理費	()
営業利益	()

材 料	
実際発生額	7,700 仕 掛 品 ()

賃 金	
実際発生額	12,100 仕 掛 品 ()

変動製造間接費	
実際発生額	13,200 仕 掛 品 ()

固定製造間接費	
実際発生額	5,500 損 益 ()

変動販売費	
実際発生額	2,000 損 益 2,000

固定販売費	
実際発生額	1,000 損 益 1,000

固定一般管理費	
実際発生額	3,000 損 益 3,000

仕 掛 品	
直接材料費 ()	製 品 ()
直接労務費 ()	
変動製造間接費 ()	
()	()

製 品	
前月繰越 3,000	変動売上原価 ()
仕 掛 品 ()	次月繰越 6,000
()	()

変動売上原価	
製 品 ()	損 益 ()

損 益	
変動売上原価 ()	売 上 50,000
変動販売費 ()	
固定製造間接費 ()	
固定販売費 1,000	
固定一般管理費 3,000	

損益計算書		(単位:円)
I	売上高	50,000
II	変動売上原価	()
	変動製造マージン	()
III	変動販売費	()
	貢献利益	()
IV	固定費	
	固定製造原価	()
	固定販売費・一般管理費	()
	営業利益	()

問 1 全部原価計算

	損益計算書		(単位:円)
	第1期	第2期	
I	50,000	50,000	
II	()	()	
	()	()	
III	()	()	
	()	()	

第1期と第2期の営業利益を比較すると、販売量が100個で変わらないにもかかわらず、生産量(完成量)が増加した第2期で営業利益が している。

これは、第2期では期末に製品10個が未販売のため、固定製造原価11,000円のうち1,000円が費用とならずに期末製品に含まれた結果、売上原価が し、営業利益がその分 しているためである。

※ 解答にあたっては、「増加」または「減少」を記入すること。

問2 直接原価計算

		損益計算書		(単位：円)	
		第1期		第2期	
I	売上高		50,000		50,000
II	変動売上原価	((
	変動製造マージン	((
III	変動販売費	((
	貢献利益	((
IV	固定費				
	固定製造原価	((
	固定販売費・一般管理費	((
	営業利益	((

直接原価計算による場合には、固定製造原価の全額が期間費用として処理される。そのため、期末に未販売の製品があるか否かにかかわらず、販売量の変化と営業利益の変化の方向が一致する。

したがって、直接原価計算により利益管理のためのCVP分析を行うことができる。

問題5 直接原価計算(原価差異の会計処理)

→ 問題88ページ

予算差異 円 (差異)

操業度差異 円 (差異)

※ () 内に「借方」または「貸方」を記入すること。

(1)全部原価計算

(2)直接原価計算

		損益計算書		(単位：円)				損益計算書		(単位：円)	
I	売上高			50,000		I	売上高			50,000	
II	売上原価					II	変動売上原価				
	月初製品棚卸高	7,400					月初製品棚卸高	6,400			
	当月製品製造原価	(当月製品変動製造原価	(
	合計	(合計	(
	月末製品棚卸高	(月末製品棚卸高	(
	差引	(差引	(
	原価差異	((原価差異	((
	売上総利益			(変動製造マージン			(
III	販売費及び一般管理費					III	変動販売費			2,000	
	販売費	3,000					貢献利益			(
	一般管理費	3,000		6,000		IV	固定費				
	営業利益			(固定製造原価	6,000			
							固定販売費・一般管理費	4,000		10,000	
							営業利益			(

(1) 第1期

①全部原価計算

	損益計算書	(単位:円)
I 売上高		60,000
II 売上原価		35,000
売上総利益		25,000
III 販売費及び一般管理費		
販売費		3,000
一般管理費		3,000
営業利益		19,000

②直接原価計算

	損益計算書	(単位:円)
I 売上高		60,000
II 変動売上原価	()	
変動製造マージン	()	
III 変動販売費		2,000
貢献利益	()	
IV 固定費		
固定製造原価		5,500
固定販売費・一般管理費		4,000
営業利益	()	

直接原価計算では固定製造原価はすべて期間原価として処理するが、全部原価計算では当期の固定製造原価（固定製造間接費）のうち（ ）円が期末製品に配賦されるため、その分売上原価が小さくなり、結果として、営業利益は直接原価計算より（ ）円大きくなる。そのため、固定費調整は次のとおりとなる。

直接原価計算の営業利益	()
固定費調整	
期末製品に含まれる固定製造原価	()
全部原価計算の営業利益	()

(2) 第2期

①全部原価計算

	損益計算書	(単位:円)
I 売上高		51,000
II 売上原価		29,300
売上総利益		21,700
III 販売費及び一般管理費		
販売費		2,700
一般管理費		3,000
営業利益		16,000

②直接原価計算

	損益計算書	(単位:円)
I 売上高		51,000
II 変動売上原価	()	
変動製造マージン	()	
III 変動販売費		1,700
貢献利益	()	
IV 固定費		
固定製造原価		5,500
固定販売費・一般管理費		4,000
営業利益	()	

全部原価計算では、第1期と同様に当期の固定製造原価（固定製造間接費）のうち（ ）円が期末製品に配賦されるため、その分売上原価が小さくなり、営業利益が大きくなる。

また、全部原価計算では、第1期末の製品に配賦された固定製造原価（ ）円が第2期の売上原価に計上されるため、その分営業利益が小さくなる。そのため、固定費調整は次のとおりとなる。

直接原価計算の営業利益	()
固定費調整	
期末製品に含まれる固定製造原価	()
期首製品に含まれる固定製造原価	()
全部原価計算の営業利益	()

Chapter 13 費目別計算3 (材料副費など)

問題1 材料費の分類

→ 問題92ページ

	項 目	内 容	直接費または間接費
材料費	主要材料費	製品を形作る主要な物品の原価	
	補助材料費	製品を製造するための補助的な物品の原価	
	買入部品費	他の企業から購入して、そのまま製品に組み込む部品の原価	
	工場消耗品費	製品を製造するための消耗品の原価	
	消耗工具器具備品費	耐用年数が1年未満または取得原価が低いことから、固定資産として扱われない工具・器具・備品の原価	

問題2 材料費の分類と計算

→ 問題93ページ

素 材		仕 掛 品	
月初有高	1,000	仕 掛 品 ()	素 材 ()
買 掛 金 ()		棚卸減耗損 ()	
		月末有高 ()	
補 助 材 料		製 造 間 接 費	
月初有高	300	製 造 間 接 費 ()	補 助 材 料 ()
買 掛 金 ()		月末有高 ()	棚卸減耗損 ()
棚卸減耗損			
素 材 ()		製 造 間 接 費 ()	

答案
用紙

Ch13
費目別計算3

問題3 材料副費(外部副費)

➡ 問題94ページ

問1

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				

問2

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				

問題4 材料副費(内部副費)

➡ 問題96ページ

内部材料副費の予定配賦額 円

材料の購入原価 円

材料副費配賦差異 円 (差異)

※ () 内に「借方」、または「貸方」を記入すること。

	項 目		内 容	直接費または間接費
労務費	直接工の賃金	直接賃金	直接工が直接作業に従事した時間に対する賃金	
		間接賃金	直接工が間接作業に従事した時間に対する賃金	
		手待賃金	材料待ち、工具待ちなど、直接工に責任のない無作業時間に対する賃金	
	間接工賃金		修繕、運搬、清掃などの間接作業に従事している工員に対する賃金	
	給 料		工場の事務員や工場長などの工員以外に対する給与	
	その他の労務費	法定福利費	工場の従業員の社会保険料の会社負担額	
		従業員諸手当	従業員に対して支給される通勤手当、住宅手当等の手当	
		従業員賞与	従業員に対して支給される賞与	
退職給付費用		工場の従業員の退職金支給に備えた引当金の繰入額		

直接労務費 円

間接労務費 円

	項 目	内 容	直接費または間接費
経 費	外注加工賃	材料の加工や組立などの製造作業の一部を外部の会社に委託したときに支払う費用	
	特許権使用料	外部の会社が特許権をもつ技術を利用して製品を製造したときに支払う費用	
	棚卸減耗損	材料の減耗による費用	
	減価償却費	工場の建物や機械などの減価償却費	
	修繕費	工場の建物や機械などの修繕にかかる費用	
	通信費	電話代や郵便代など	
	福利厚生費	社宅家賃や健康診断費用のうちの会社負担分など、従業員の労働意欲向上のための費用	

材 料		仕 掛 品	
買掛金	10,000	仕掛品()	材 料 ()
		月末有高()	外注加工賃()
外注加工賃			
現金	1,500	仕掛品()	

問題9 費目別計算のまとめ

仕 掛 品	
直接材料費 ()	当月完成高 ()
直接労務費 ()	
直接経費 ()	
製造間接費 ()	
()	()

製造間接費	
間接材料費 ()	予定配賦額 ()
間接労務費 ()	
間接経費 ()	
製造間接費配賦差異 ()	
()	()

月次損益計算書		(単位:円)
I 売上高		22,100
II 売上原価		
1 月初製品棚卸高	0	
2 当月製品製造原価	()	
合計	()	
3 月末製品棚卸高	0	
差引	()	
4 原価差異	()	()
売上総利益		()
III 販売費及び一般管理費		
販売費	()	
一般管理費	()	()
営業利益		()

Chapter 14 本社工場会計

問題 1 本社工場会計の目的

➡ 問題 102ページ

ア		イ		ウ	
---	--	---	--	---	--

問題 2 本社工場会計 仕訳 1

➡ 問題 103ページ

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				
(6)				
(7)				
(8)				

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				
(6)				
(7)				
(8)				

(本社の帳簿)

(工場の帳簿)

製 品

工 場 () | 売上原価 ()

製 品

仕 掛 品 () | 本 社 ()

工 場

買 掛 金 () | 製 品 ()
 当 座 預 金 ()
 当 座 預 金 ()

本 社

製 品 () | 材 料 ()
 賃 金 ()
 水道光熱費 ()

残 高 試 算 表

20X9 年 3 月 31 日

(単位：円)

借 方	本 社	工 場	貸 方	本 社	工 場
当 座 預 金	()	()	建物減価償却累計額	()	()
製 品	()	0	本 社	—	()
材 料	—	()	資 本 金	120,000	—
仕 掛 品	—	()	繰越利益剰余金	91,400	—
建 物	96,000	48,000	売 上	()	—
工 場	()	—			
売 上 原 価	()	—			
販 売 費	17,800	—			
減 価 償 却 費	()	0			
	()	()		()	()

Chapter 15 製造業会計

決算整理後残高試算表

× 8 年 3 月 31 日

(単位：円)

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
現 金 預 金	()	買 掛 金	()
売 掛 金	()	貸 倒 引 当 金	()
材 料	()	未 払 法 人 税 等	()
仕 掛 品	()	退 職 給 付 引 当 金	()
製 品	()	建物減価償却累計額	()
建 物	360,000	資 本 金	300,000
売 上 原 価	()	利 益 準 備 金	10,000
給 料	()	繰越利益剰余金	()
退 職 給 付 費 用	()	売 上	()
減 価 償 却 費	()		
貸 倒 引 当 金 繰 入	()		
法人税、住民税及び事業税	()		
	()		()

損益計算書

×7年4月1日～×8年3月31日 (単位:円)

I 売上高		()
II 売上原価		()
売上総利益		()
III 販売費及び一般管理費		
給料	()	
退職給付費用	()	
減価償却費	()	
貸倒引当金繰入	()	()
営業利益		()
税引前当期純利益		()
法人税、住民税及び事業税		()
当期純利益		()

問題3 製造業会計(原価差異あり2)

貸借対照表

×8年3月31日 (単位:円)

資産の部		負債の部	
I 流動資産		I 流動負債	
現金預金	()	買掛金	()
売掛金	()	未払法人税等	()
材料	()	流動負債合計	()
仕掛品	()	II 固定負債	
製品	()	退職給付引当金	()
貸倒引当金	△ ()	固定負債合計	()
流動資産合計	()	負債の部合計	()
II 固定資産		純資産の部	
建物	360,000	資本金	300,000
減価償却累計額	△ ()	利益準備金	10,000
固定資産合計	()	繰越利益剰余金	()
資産の部合計	()	純資産の部合計	()
		負債・純資産合計	()

損益計算書

×7年4月1日～×8年3月31日

(単位：円)

I	売上高		()
II	売上原価		
	期首製品棚卸高	()	
	当期製品製造原価	()	
	合計	()	
	期末製品棚卸高	()	
	差引	()	
	原価差異	()	()
	売上総利益		()
III	販売費及び一般管理費		
	給料	()	
	退職給付費用	()	
	減価償却費	()	
	貸倒引当金繰入	()	()
	営業利益		()
	税引前当期純利益		()
	法人税、住民税及び事業税		()
	当期純利益		()

